

# 千代田区第4次基本構想(素案)について



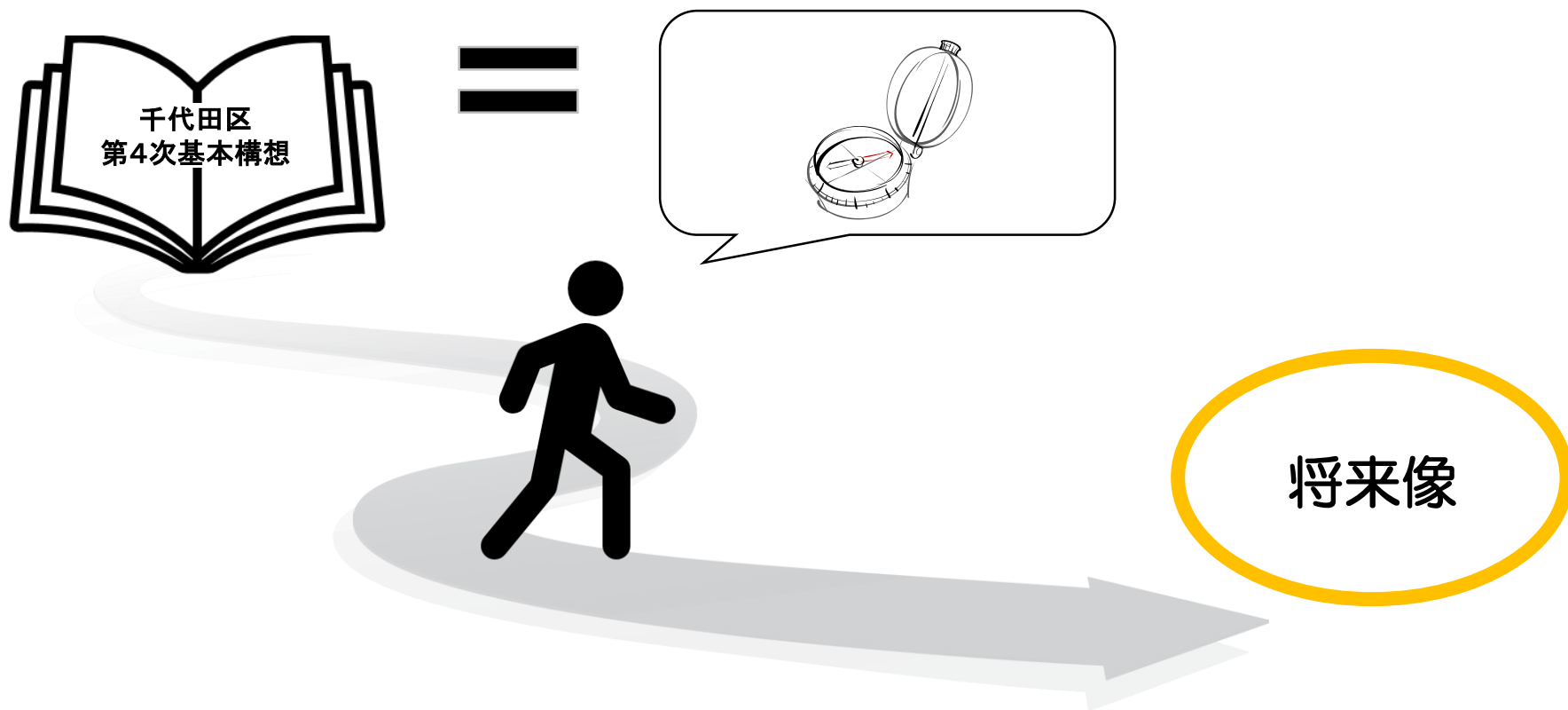
令和4年12月  
住民説明会資料

項目	予定時間										
千代田区第4次基本構想（素案）等について	30分程度										
<p>目次</p> <table><tbody><tr><td>1. 基本構想とは</td><td>P2</td></tr><tr><td>2. 基本構想策定の背景</td><td>P5</td></tr><tr><td>3. 基本構想の策定過程</td><td>P10</td></tr><tr><td>4. 第4次千代田区基本構想（素案）</td><td>P17</td></tr><tr><td>5. 意見公募（パブリックコメント）の実施</td><td>P29</td></tr></tbody></table>		1. 基本構想とは	P2	2. 基本構想策定の背景	P5	3. 基本構想の策定過程	P10	4. 第4次千代田区基本構想（素案）	P17	5. 意見公募（パブリックコメント）の実施	P29
1. 基本構想とは	P2										
2. 基本構想策定の背景	P5										
3. 基本構想の策定過程	P10										
4. 第4次千代田区基本構想（素案）	P17										
5. 意見公募（パブリックコメント）の実施	P29										
質疑応答	30分程度										

# 1. 基本構想とは

## 1-1. 基本構想とは

- 区の将来像や分野別のあるべき姿を示し、区のすべての行政計画の最上位に位置付けられる理念
- 行政運営の基本となる指針
- 千代田区にかかわるすべての人々と共有し、一体となって構想の実現を目指すもの



## 1-2. これまでの基本構想について

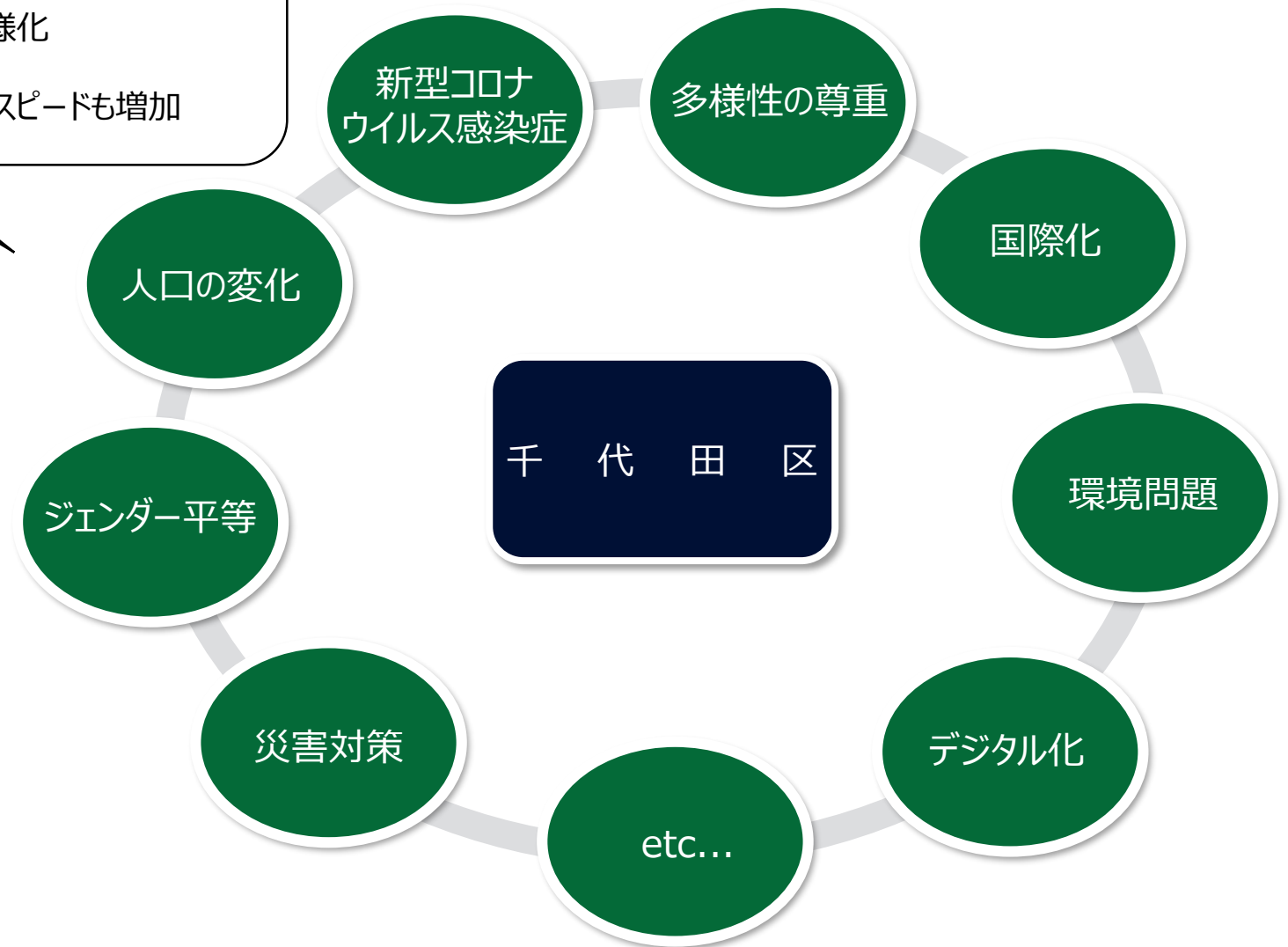
名称	千代田区基本構想	千代田区新基本構想	千代田区第3次基本構想
策定期	昭和53年6月策定	平成4年6月策定	平成13年10月策定
基本目標 ／将来像	活気と安らぎのある 調和のとれたまち	多様な人びとが、住み、働き、集う、 心豊かなまち千代田	都心の魅力にあふれ、 文化と伝統が息づくまち千代田
目標年次	✓ 昭和60年代半ば	✓ 21世紀初頭	✓ 平成30年代
目標人口	✓ 8万人 ➡44,251人(平成4年5月)	✓ 5万人 ➡39,711人(平成13年9月)	✓ 5万人 ➡67,845人(令和4年11月)



## 2. 基本構想策定の背景

## 2-1. 区を取り巻く社会情勢の変化

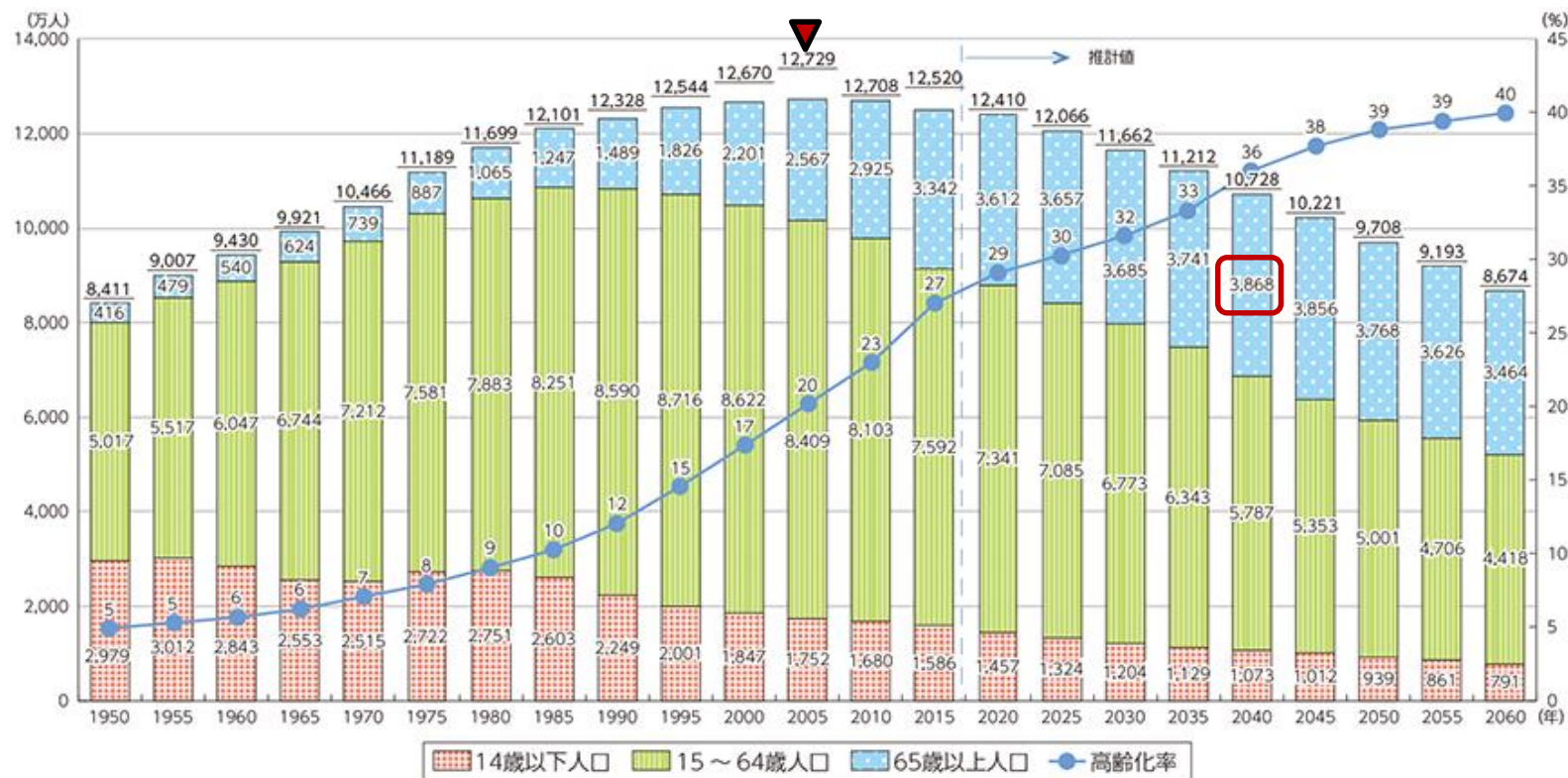
- 第3次基本構想の策定から約20年が経過
- 社会情勢の複雑化、多様化
- 変化の大きさや変化するスピードも増加



## 2-2①. 日本の人口推計

### 総人口

日本の人口は、2008年をピークに減少



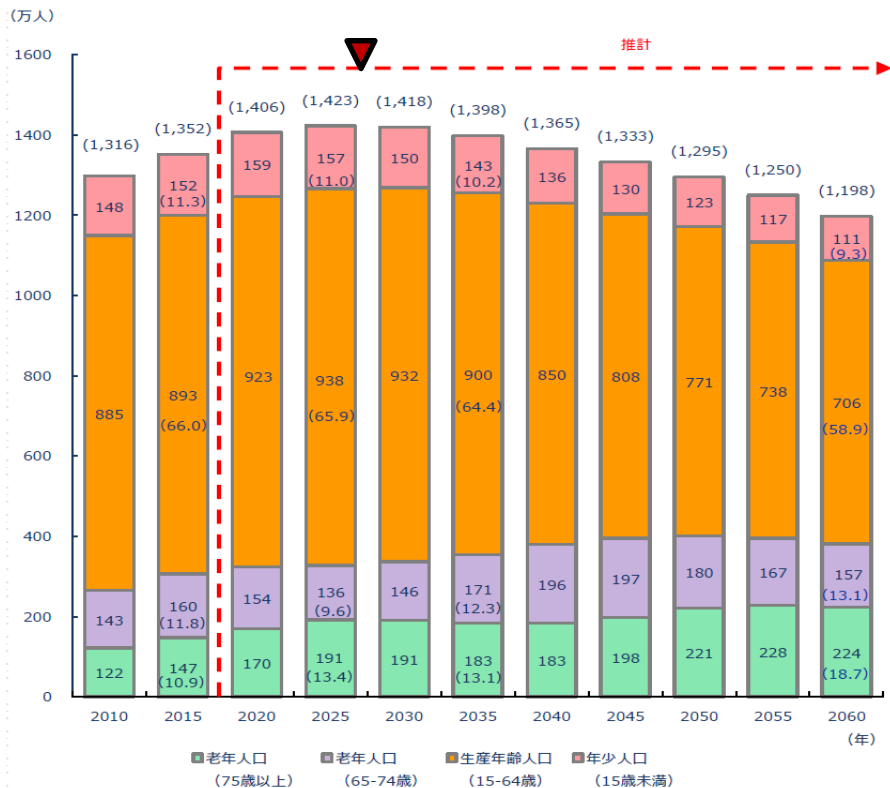


## 2-2②. 東京都の人口推計

### 総人口

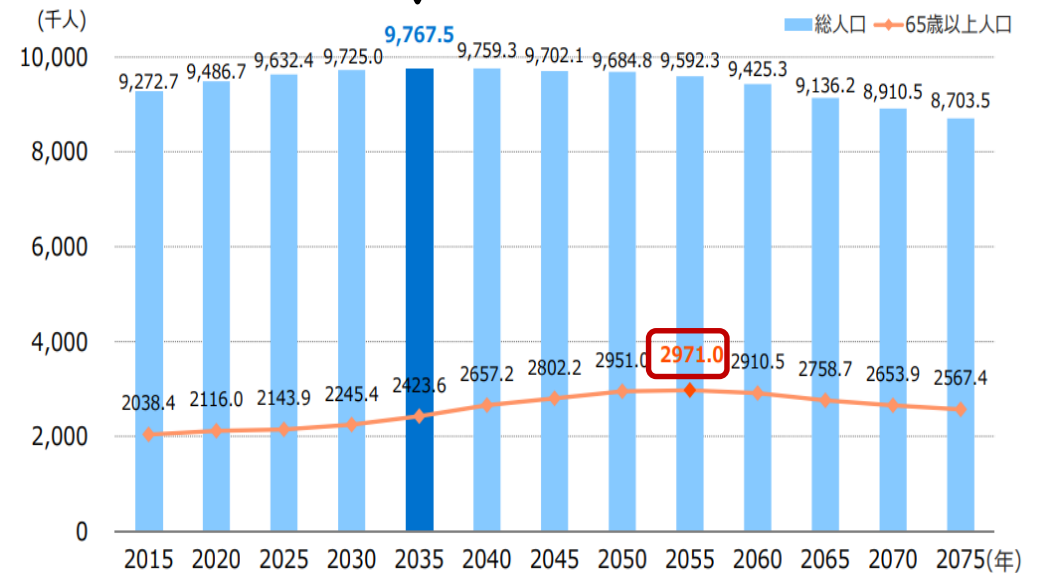
### 東京都や特別区の人口も、順次ピークアウト

#### 東京都



東京都『「未来の東京」戦略』より

#### 特別区



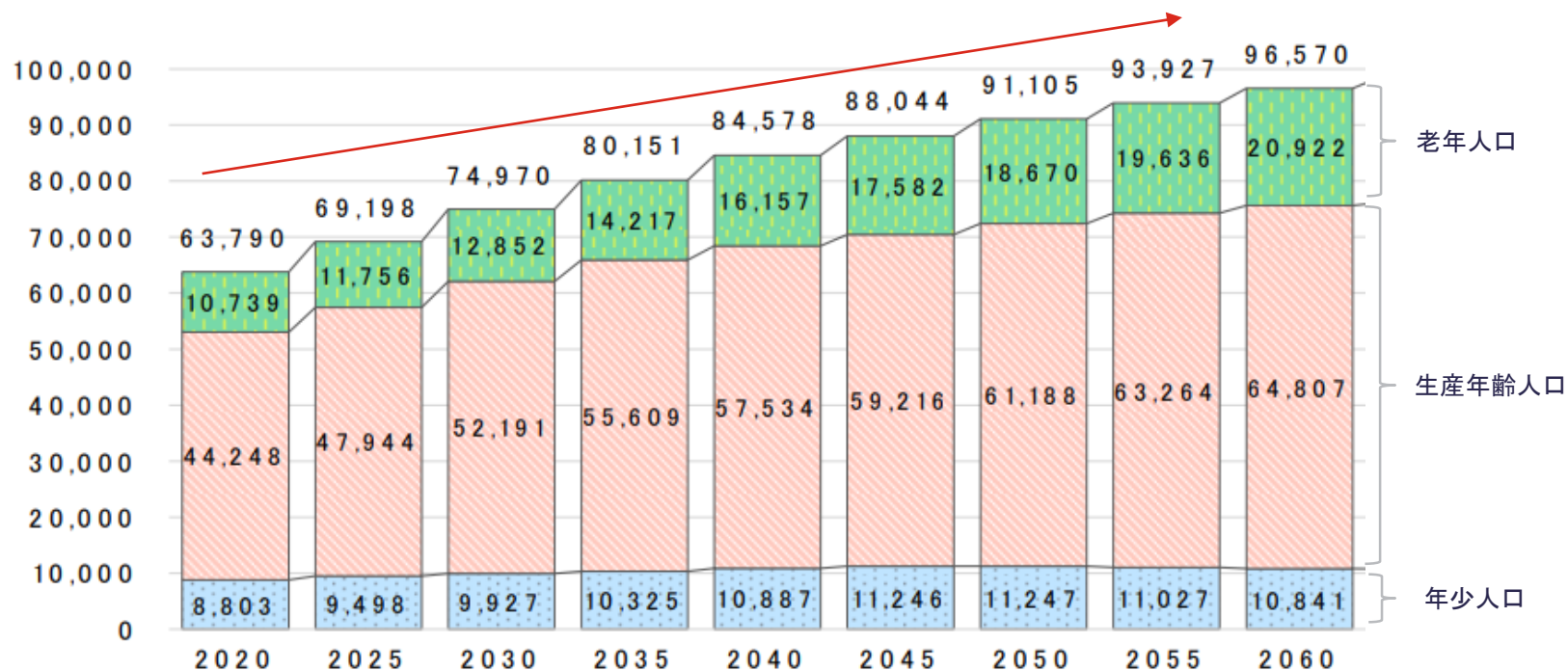
出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」を基に日本総研作成

特別区長会調査研究機構 令和元年度調査研究報告書「大局的に見た特別区の将来像」より

## 2-2③. 千代田区の人口推計

### 総人口

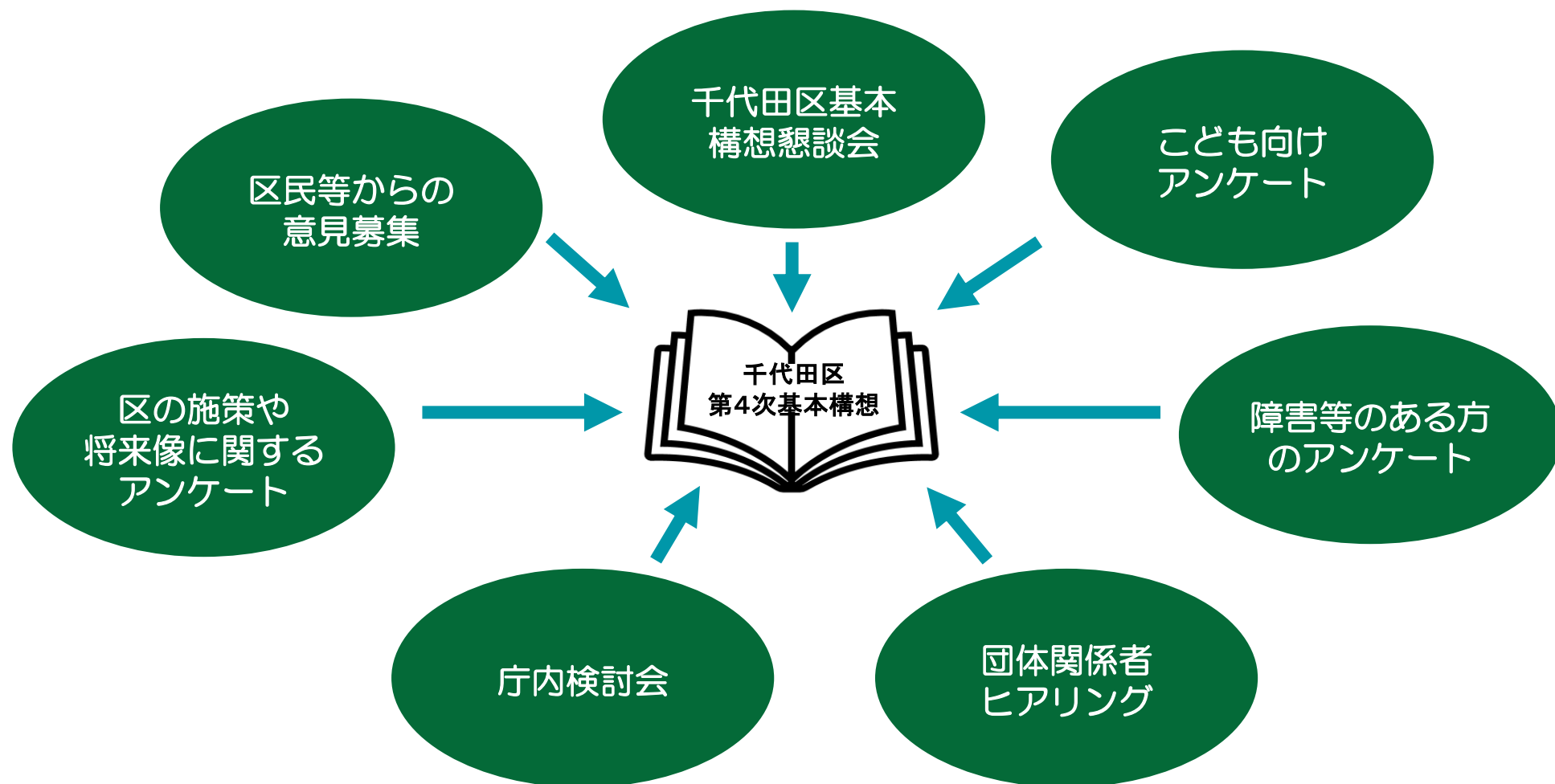
千代田区では今後も増加し続ける推計結果



### **3. 基本構想の策定過程**

### 3-1. 基本構想の策定過程

- 「千代田区基本構想懇談会」をはじめ、「団体関係者ヒアリング」、「区民等からの意見募集」や「各種アンケート」等の意見を踏まえて策定



## 3-2①. 基本構想の策定過程

令和3年

千代田区新総合計画策定庁内検討会を設置

庁内検討会にて検討開始

令和4年

1月 区の施策や将来像に関するアンケート実施

在住区民4,000名、昼間区民1,000名を対象に、千代田区の将来像等についてアンケートを実施

6月（仮称）第4次基本構想（たたき台）を作成

アンケートの結果等を踏まえ、庁内検討会にて、たたき台を作成

7～11月 千代田区基本構想懇談会の設置

区民18名（途中1名辞退）と学識経験者4名で構成。  
全体会と部会で計6回にわたって協議



## 3-2②. 基本構想の策定過程

令和4年

7月 子どもアンケートの実施

区立の小学校5・6年生と中学校・中等教育学校全生徒を対象にアンケートを実施

7～8月 区民等からの意見募集

たたき台について、区民等から意見を募集

7～9月 団体関係者ヒアリングの実施

区内で活動する20以上の団体の関係者にヒアリングを実施



11月 提言書提出

千代田区基本構想懇談会から提言書を提出

11月 千代田区第4次基本構想（素案）を策定

懇談会からの提言書等を踏まえ、素案を策定



### 3-3③. 基本構想の策定過程

令和4年

12月 住民説明会等の実施

12月9日～23日にかけて住民説明会やオープンハウス型説明会を開催（全8日間18コマ）

12月～1月 意見公募の実施

12月5日～翌年1月6日にかけて意見公募を実施中

<今後の予定>

令和5年

1月 基本構想（案）の決定

住民説明会やパブリックコメントを踏まえ、基本構想（案）を決定

2月 千代田区議会に議案提出

区議会第1回定例会に、千代田区第4次基本構想（案）を提出

## 3-4①. 千代田区基本構想懇談会

- 区民が共感できるような新たな基本構想をめざし、第4次基本構想（たたき台）について協議
- 区民18名（途中1名辞退）と学識経験者4名で構成
- 全体会と3分野に分けた部会（「教育と文化」、「福祉と保健」、「くらしとまちづくり」）で計6回にわたり協議

### 開催日程

日程	開催回
7/25	第1回全体会
7/28	第1回部会
8/29	第2回全体会
9/2、9/9	第2回部会
10/6	第3回全体会
11/8	第4回全体会

### 懇談会の様子



全体会の様子



部会の様子



## 3-4②. 千代田区基本構想懇談会からの提言

### 基本構想（たたき台）

#### 2 めざすべき将来像

#### 伝統とモダンがとけあい、未来に躍進するまち ～彩りあふれる、希望の都心～

千代田区は、約400年にわたり、政治・経済・文化の中心として歴史を刻んできました。私たちが受け継いできた伝統は、長い歴史の中で、それぞれの時代における人びとが新たな文化や価値観を取り入れ、発展してきたものであり、千代田区の魅力を高めてきました。

社会の変化が激しい時代にあっても、私たちは、先人が築いてきた伝統を大切にしながら、新たな時代における文化や価値観とも調和をはかり、未来に向け力強く躍進していきます。そして、千代田に住み、働き、学び、集うすべての人びとが輝き、彩りあふれ、将来にわたって希望に満ちた魅力あふれるまちをめざします。

※（仮称）第4次基本構想（たたき台）当時の内容です。

### 提言内容（一部抜粋）

- 千代田区は、日本の政治・経済・文化の中心に位置し、先駆的で特色ある取り組みを実施してきた自治体の1つであるため、今も躍進し続けることが伝わるようにされたい。
- 千代田区らしさを表現するなど千代田区の将来像であることをより明確にされたい。
- 伝統や歴史、文化について、これまで守ってきたものを引き続き大切にしていくとともに、新しい文化や価値観が調和、融合されたまちを目指していただきたい。
- 千代田区に関わるすべての人が、地域のつながりや世代を越えたつながりを築けることが、千代田区のめざすべき将来像においても重要な要素であると考えます。
- 魅力的な千代田区に、住みたい人が住み続けられるまち、持続可能なまちになることをめざすべき将来像の中に取り入れていただきたい。



～提言書～

上記提言の他、千代田区基本構想懇談会からいただいた提言を踏まえ、基本構想（素案）を策定しています。

▶ 提言書は右の二次元コードから  
ご覧いただけます。



## 4. 千代田区第4次基本構想(素案)

## 4-1. 千代田区第4次基本構想（素案）の構成



### はじめに

- 千代田区の歩み
- 社会情勢の変化や千代田区を取り巻く状況
- 20年先の社会を見据えた区政運営
- 新たな時代に向けて

- これまでの基本構想のように目標人口は掲げずに、人口トレンドを把握しながら行政運営を実施
- 概ね10年で内容を点検



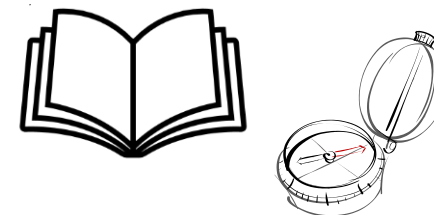
### 区役所の役割

- 住民に最も身近な行政主体
- 基礎的な地方公共団体としての自治体運営
- 安定的な財源の確保と住民自治の確立



### 基本構想の役割

- 千代田区の将来像や分野別のあるべき姿を描くもの
- その実現に向けた方向性を示すもの
- 行政計画の最上位に位置づけられる理念（行政運営の基本となる指針）
- 区に関わるすべての人びとと共有し、一体となって実現するための指針



## 4-4①. 「2 めざすべき将来像」



伝統と未来が調和し、躍進するまち  
～彩りあふれる、希望の都心～

## 伝統と未来が調和し、躍進するまち ～彩りあふれる、希望の都心～

- 千代田区は、皇居を中心に、官庁街・オフィス街・商店街・住宅街など個性豊かなまちを有しています。そして、そこで活動する人々が、お祭りやまち並みなどに象徴される文化、伝統を受け継いできました。
- 私たちが受け継いできた伝統は、長い歴史の中で、それぞれの時代における人びとが新たな文化や価値観を取り入れ、発展してきたものであり、千代田区の魅力を高めてきました。
- 社会の変化が激しい時代にあっても、私たちは、先人が築いてきた伝統を大切にしながら、新たな時代における文化や価値観とも調和をはかり、未来に向け力強く躍進し続けます。そして、人やまちとのつながりを大切に、住み続けられるまちをめざすとともに、千代田に住み、働き、学び、集うすべての人びとが輝き、彩りにあふれ、将来にわたって希望に満ちた魅力あふれるまちをめざします。

分野別の将来像

「めざすべき将来像」を実現したまちと人々の暮らしの姿

分野別の将来像

めざすべき将来像

伝統と未来が調和し、  
躍進するまち  
～彩りあふれる、希望の都心～

自分らしく健やかに暮らし、笑顔で成長しあえるまち

集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち

やすらぎを感じ、安心して快適に暮らせるまち



## 自分らしく健やかに暮らし、笑顔で成長しあえるまち

- 多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。
- すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。
- お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。
- 衛生的な環境のもと、いきいきと健康に暮らしています。
- 生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっています。
- 伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。



## 集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち

- 活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。
- 人とのつながりが感じられ、支えあうことができます。



## やすらぎを感じ、安心して快適に暮らせるまち

- 良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。
- 人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活をおくっています。



## 4-6. 「4 基本構想の実現に向けて」

### 変化の激しい時代への 柔軟な対応

- 効果的・効率的な行財政運営
- 新たな技術や民間活力も積極的に活用

### 多様性を尊重し 認めあう社会づくり

- 多様性を包摂する社会づくりを推進
  - 多様な価値観や考え方を尊重し、互いに認めあうこと
  - 国際都市東京の中心である千代田区として、国や文化などの多様性を尊重し、人権や平和を守る取組みの推進

### 参画・協働の推進

- 適時適切な情報発信
- 区政への区民の主体的な参画を推進
- 区民の様々な意見を尊重し、理解を得られるような区政運営
- 区民、事業者、他自治体など、様々な主体との連携、協働を推進し、地域課題の解決や新たな活力を創出

## 5. 今後の行財政運営の考え方

### 行財政運営の考え方

今後も、基礎的な地方公共団体として、区民や事業者のニーズを的確にとらえ、それらに寄り添った施策を柔軟かつ迅速に展開していくための行財政運営に関する考え方

1. 変化に柔軟に対応できる  
行財政運営の推進

3. 将来世代に負担を先送りしない  
財政運営の推進

2. 持続可能な財政基盤の確立

4. 透明性のある行財政運営の推進

## 5. 意見公募(パブリックコメント)の実施

## 5. 意見募集（パブリックコメント）の実施

### 意見募集期間

令和4年12月5日（月）～令和5年1月6日（金）

### 意見を提出できる方

- ・区内在住、在勤者、在学者
- ・区内に事務所または事業所を有する個人、法人、団体
- ・その他利害関係を有する方

### 意見提出方法

- ・郵送（当日消印有効）、ファクス、Eメール、ホームページ（入力フォーム）または直接問合せ先へ
- ・意見の提出様式は自由

### 記入内容

氏名（名称）、住所（所在地）、所属（在住、在勤等）、意見

### その他

- ・口頭・電話では受け付けません。
- ・意見や個人情報は、当該案件の検討以外の目的には使用しません。
- ・個別の回答はいたしません。（後日、区の考え方をHPで公表）
- ・資料のデータや詳細は、右の二次元コードから閲覧可能です。

